



「ふるさと与論～誠の心を伝えよう～」 感動の学習発表会！

11月12日(土)、保護者や地域の方々、来賓の方々、与論こども園の園児や先生方等多数御出席いただきまして、学習発表会を開催することができました。昨年度は創立140周年記念事業としての開催でしたが、本年度は土曜授業の一環として開催しました。テーマは「ふるさと与論～誠の心を伝えよう～」とし、各学年の発表内容に与論色を十分取り入れたものに仕上げました。

1年生の朗読劇「ふるさと与論 1年生バージョン」は、トゥングトゥングの様子などをはきはきと元気よく発表することができました。2年生の劇「思イドウ運命、請ドウ幸運」は、与論の未来にはたくさんの夢があふれている様子を伝えることができました。3・4年生の合唱奏「ウーチャタバーリ」は、与論の音楽を三線やエイサーの響きとともに発表することができました。また、合唱「Smile」は、群読を交え、心に響く優しい歌声を届けました。町音楽発表会でも会場を魅了した感動的な歌声でした。「Smile No.1」をキャッチフレーズにしている与論小の愛唱歌としたいほどのすばらしい歌です。5年生の方言劇「ヘーフシャ ティティン ウヨーアイブシャ」は、4月からの学習の成果を十分発揮し、ユンヌフトゥバのセリフもよく覚えて発表することができました。6年生の劇「私たちの与論を伝えよう」は、与論の食べ物・歴史・人物・行事等をユーモアを交えて分かりやすく伝え、さすが最上級生と思わせる発表でした。全児童・職員による合唱奏は、「サヨサ節」で三線教室の成果を発表し、今月の歌として学級で口ずさんでいる「サヨサ節」と「ヨロンのかたち」を心を込めて歌うことができました。

おかげさまで大変充実した学習発表会となりました。一つ一つの舞台発表や展示作品は、テーマにつながるような成果を十分出すことができた大変満足しています。日ごろの指導や子どもたち一人一人の意欲的な頑張りはもちろんですが、保護者や地域の方々がいっぱい温かく御支援・御協力くださってこそその成果だったと心から感謝申し上げます。ミッシーク トートウガナシ。

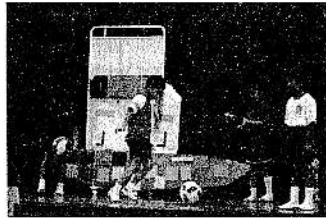
12月を迎え、2学期も残り少なくなってきましたが、健康に留意しながら締めくくりをしっかりと行い、元気で新しい年を迎えることができるように取り組んでまいります。今後とも皆様の温かい御支援・御協力をよろしくお願いいたします。



【全体合唱】



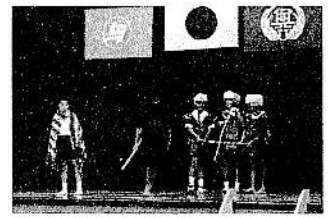
【1年生朗読劇】



【2年生劇】



【3・4年生合唱奏】



【5年生方言劇】

危機言語・方言サミットで与論小学校の取組を紹介！

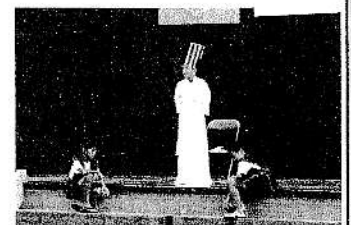
学習発表会の翌日11月13日(日)9:00～15:15、砂美地来館において「危機的な状況にある言語・方言サミット(奄美大会)・与論」が開催されました。北は北海道から南は沖縄県と那国島まで、全国各地から多くの方々に参加され、大変盛り上がった大会となりました。報道機関からの取材も多く、大会の様子はテレビ朝日やMBC等で放映され、南日本新聞や南海日日新聞等にも掲載されました。

午前中は、舞弦鼓の方々や那間こども園児による歓迎セレモニーでの発表に続き、危機言語・方言の現況報告・協議、8つの危機言語・方言の聞き比べがありました。ユンヌフトゥバの保存・伝承の取組についても、町教育委員会や与論民俗村の菊秀史さんから紹介がありました。

午後からのプログラムの中で、プレゼンテーションを使って15分程度与論小学校の取組を紹介しました。どんな学習をしているか、学習の意義、学習で使用している教材・教具等の紹介、成果と課題を発表し、最後に動画で低学年のユンヌフトゥバ学習の様子、ふれあい交流会の様子、前日の学習発表会での5年生の方言劇の様子を紹介しました。時間が限られていて動画をじっくりとお見せできなかったのは残念でしたが、本校でユンヌフトゥバを大切な宝物として学習していることを会場の方々に御理解いただけたのではないかとうれしく思っています。

その後、奄美島唄唄者である朝崎郁恵さんの講演があり、閉会式ではこの度名誉町民となられた菊千代さん、本校卒業生である川崎佳都さん(与論中3年)と池田匡佑さん(与論中2年)の3人による大会宣言の読み上げがありました。

文化庁が主催する全国レベルのこの大会が今回与論で開催され、危機言語・方言について理解を深めるきっかけになったことは大変有意義だったと言えます。本校では、これからもユンヌフトゥバを大切にしながら保存・伝承していきますので、地域の方々にもたくさん御教示いただけるとありがたいです。



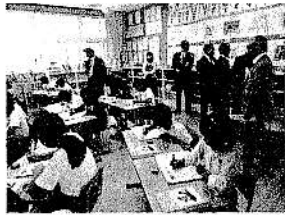
【5年生方言劇】

地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月2日(水) 学校訪問と道徳の授業参観

町議会と町教育委員会合同の学校訪問が行われました。当日は、道徳の授業参観や施設参観と併せ、学校の経営方針の説明や質疑応答、意見交換をさせていただきました。

また、2校時は「心の教育の日」の取組で保護者の皆さんと一緒に道徳の授業を見ていただきました。ありがとうございました。



校内読書旬間 本に親しむ10日間

10月17日(月)から28日(金)までは、校内読書旬間でした。県民週間の取組と併せて、町立図書館の企画による読書集会や職員による読み聞かせなどの取組も行われました。



児童集会では、図書委員会が読書旬間の呼びかけと、本の紹介とクイズを行いました。

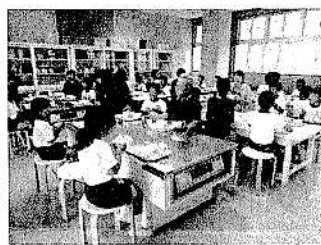
17日と24日は、全職員が交代で本の読み聞かせを行いました。

与論小では、子供たちがそれぞれに年間の目標冊数決めて年間を通じて本に親しむ活動を展開しています。豊かな心と言葉を育む読書活動に、大人も子供も取り組みたいものです。



11月1日(火) ふれあい交流会・ふれあい給食

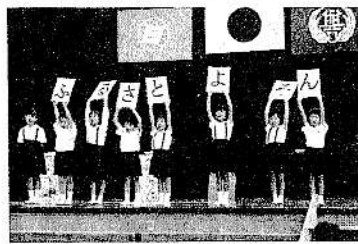
今年も、65名の方が参加、「コンヌフトゥパかるた」で楽しく交流しました。子どもたちと一緒にかるた遊びをしていただく中では、コンヌフトゥパの意味や使い方についても詳しく話をする場面もあり、子どもたちにとっては、貴重な学びの時間にもなりました。



ふれあい給食には、保護者の方も含めて50名の方が参加していただき、子どもたちと一緒に給食の時間を楽しんでいただきました。

11月12日(土) 学習発表会

今年の学習発表会は、「ふるさと与論～誠の心を伝えよう～」をテーマに設定し、発表を行いました。



1年生の朗読劇、3・4年生の合唱奏。5年生は方言劇を、2年生は、将来の自分の姿を劇で表現してくれました。

後半は、6年生は、「わたしたちの与論を伝えよう」と題して、与論の魅力や歴史について分かりやすく伝えました。

人権週間の取組に向けて 授業を通して学びを深める

10月5日(水)町人権同和教育部会の公開授業で6年生社会科の研究授業を開催しました。与論町教育研究会では、各教科部単位でも研究授業等を通して授業力の向上を図っています。

この日は、3小1中1高の部員や管理職が参加して江戸時代の歴史を取り扱った公開授業を参観。27日(木)の部会では、人権教育の進め方についても授業のあり方を通して研修しました。

12月4日(日)から人権週間も始まりです。私たちの社会にある様々な人権課題については、私たち大人も学び正しい理解と認識を持ち、取組を進めなければなりません。

9日(金)の家庭教育学級でも学校の取組を紹介しますのでぜひご参加ください。

行事予定

12月

- 1日(木) 人権集会(2校時)
- 2日(金) 特別校時 ALT訪問
与論町学校保健研究大会(午後)
- 7日(水) ALT訪問 くじら号来校
- 9日(金) 特別校時 持久走大会
学級PTA 家庭教育学級
- 17日(土) こども園生活発表会
- 18日(日) 町民一斉清掃の日
- 22日(木) 終業式
- 27日(火) ヨロン・おきなわ音楽交流祭
- ※ 冬季休業 12/26~1/9

